

TOTO

シングルレバー混合栓（イオン水生成器用）

TK50A1型
TK50-1型
TK51-1型


製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。




1 安全上の注意（安全のために必ずお守りください。）

お取付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。




●この説明書では機器を安全に正しく取付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

	してはいけない「禁止」の内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制内容」です。

注意

	湯・水を逆に配管しないでください。 水を出そうとしても、湯が出て、やけどをするおそれがあります。
	給湯温度は最高85℃まででお使いください。 85℃以上でご使用になると、器具の寿命が短くなり水栓の破損で水漏れして、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
	水栓本体内部を分解しないでください。 水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

この商品は、イオン水生成器（TEK511B2型、TEK531B1型）とセットで使用することでイオン水生成器兼用水栓となります。

施工時は、本説明書と合わせてイオン水生成器の施工説明書もご覧ください。

2 仕様


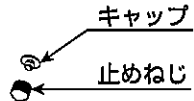




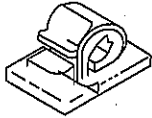
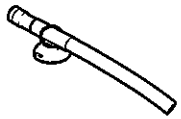
給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.07MPa(流動圧)
	最高水圧	0.75MPa(静水圧)
使用最高温度	給水（浄水）	35℃以下
	給湯	85℃以下
使用可能水質		水道水及び飲料可能な井戸水
使用環境温度		1～40℃
用途		一般住宅台所用

3 取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 下記を参考にして、浄水器の取付場所を選定してください。
※混合栓の下部(流し台下)で、既設の配管にぶつからない場所。
※混合栓から付属のホースで、設置可能な場所。
※ねじや両面テープで、取付台及びカートリッジ本体を十分に支えられる場所。(TK300B型のみ)
- イオン水生成器(TEK511B2型,TEK531B1型)を接続する場合は、イオン水生成器の施工説明書を参照してください。
- 梱包前に通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、商品には問題ありません。

4 部品の確認

同梱部品

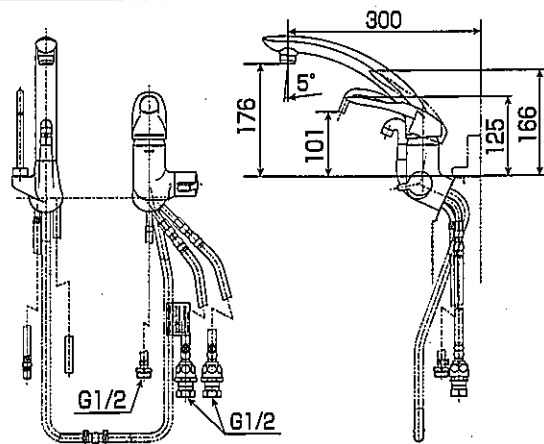
No.	数量	名称	
1	1冊	取扱説明書 (注意ラベルを同梱)	
2	各2個	止めねじ キャップ	
3	2個	ワンタッチソケット (パッキン付)	
4	1個	ホースクランプ (スパウトタイプのみ)	
5	1個	水受けトレイ (ハンドシャワータイプのみ)	
6	1個	ストッパー (ハンドシャワータイプのみ)	
7	小4個 大2個	クランプ (ハンドシャワータイプのみ)	
8	1個	酸性水ホース(吸盤付き) ※TK50A1型のみ	

なお、本商品には、水栓固定用の呼び2.5の六角棒スパナが同梱されています。

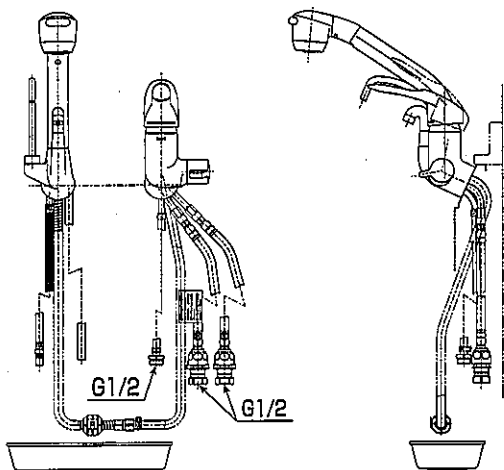
5 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

スパウトタイプ
(TK50-1型)
(TK50A1型)

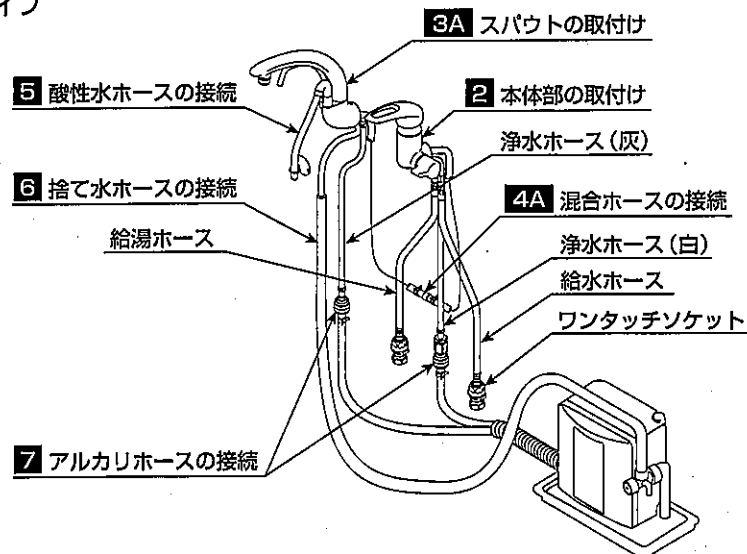


HANDSPREタイプ
(TK51-1型)

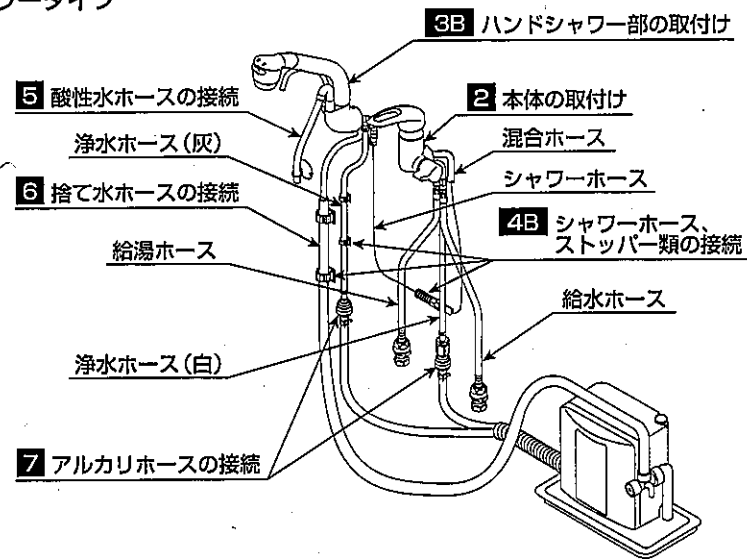


6-1 施工手順

スパウトタイプ



HANDシャワータイプ



使用上の注意

この商品は、ウォーターハンマー低減機構を採用しております。
レバーハンドルを速く操作しようとする、抵抗感が発生し重く感じる場合がありますが故障ではありません。
万一、レバーハンドルがロックして、水が止まらなくなった場合は、一度全開にして、再度ゆっくり閉めてください。

1. 給水・給湯ホースの接続

①ワンタッチソケットを止水栓に固定する。

②給水・給湯ホースに**異物の付着がないこと**を確認し、ワンタッチソケットに**まっすぐ奥まで（カチッと音がするまで）**確実に差し込む。

※この際、同梱の「ワンタッチソケット取付け方法」の説明札を必ずホースに通してください。

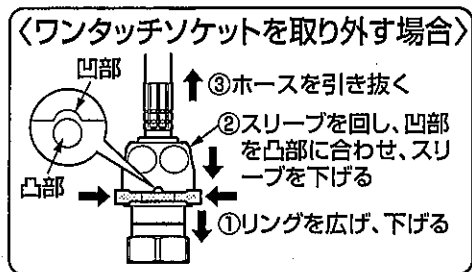
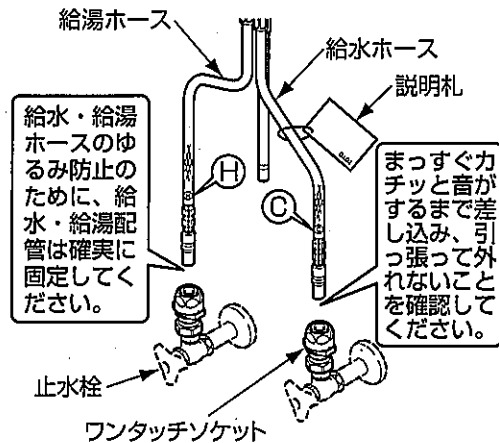
注意

給水・給湯ホースの緩み防止のため、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

取付け後の確認

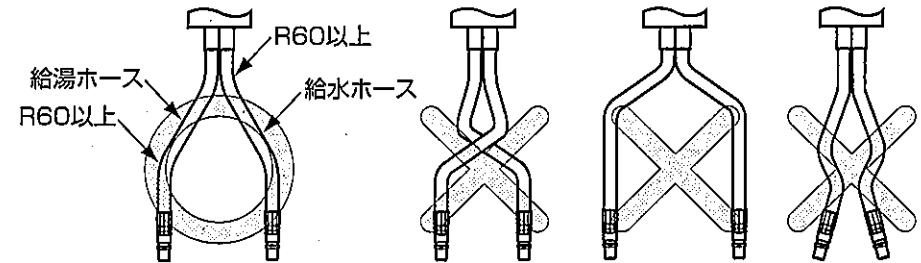
重要

- ホースをまっすぐ引っ張って外れないこと
- 奥まで確実に差し込まれていること
- リングがセットされていること



2. 給水・給湯ホースの施工上の注意点

- ホースを**必要以上の方で曲げて折らないように**注意してください。
- ホースの**最小曲げ半径は60mm**です。それよりも小さく曲げて使用しますと、ホースが折れ、十分な流量が出ない場合や、破損、水漏れのおそれがあります。
- ホースを**水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないで**ください。
- ホースを**無理に引っ張らないで**ください。ホースが折れる可能性があります。
- ホース同士の**不要な接触は避けて**ください。外部補強層の摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。



止水栓位置の確認（下記の位置が推奨位置です。**施工前に確認ください。**）

(1) 高さ方向：床から480mm

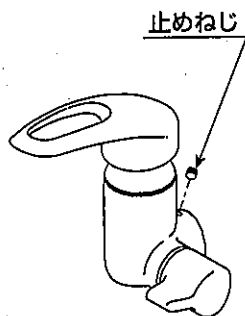
(2) 水平方向 給水：本体より右に270mm 給湯：本体より右に170mm

1 給水管内の清掃

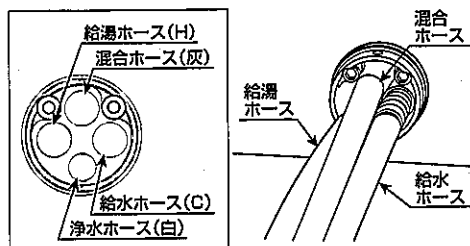
器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

2 本体の取付け

2-1 止めねじを本体止側のねじ穴に仮ねじこみする。
ねじは、内側に出ないようにする。

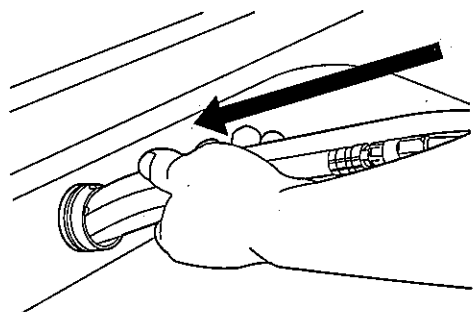


2-2 シンクの取付金具のリングにごみ等がついていないことを確認する。
ホースをそろえて浄水ホース、混合ホース、給水、給湯ホースの順にシンクに向かって右側の取付金具に挿入する。

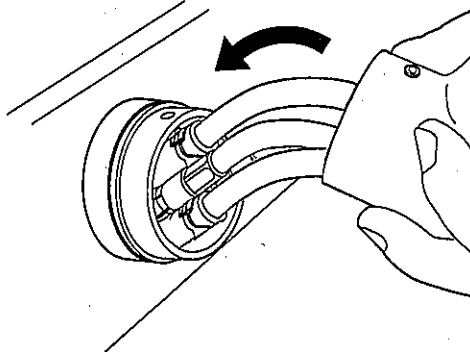


ホースは、交差しない様にしてそろえて挿入してください。

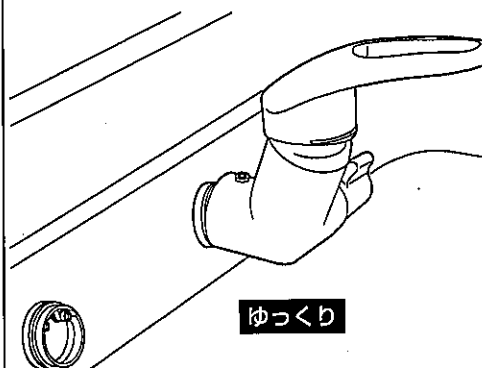
2-3 ホース先端がキャビネットに当たりますので、なるべくホース先端が下向きになるように手でホースを送りこみながら、挿入する。



2-4 給水、給湯ホースが銅管につながるところまで挿入できたら、本体をささえながら銅管の曲がりに沿うように本体を押しこむ。

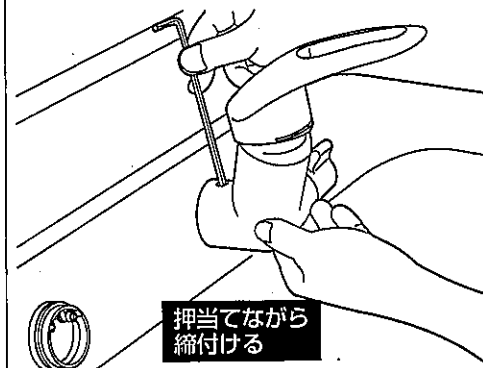


2-5 本体が取付金具まで挿入できたら、本体の根元がシンクに接するまで取付金具にゆっくり押しこむ。



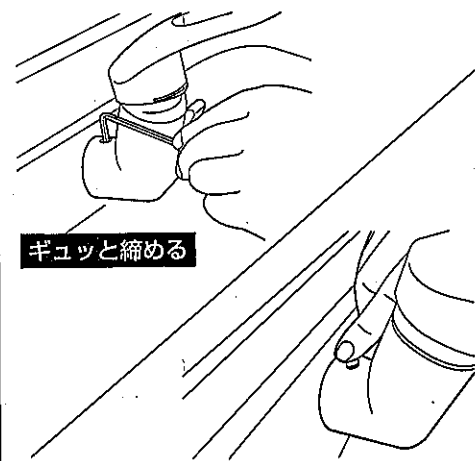
入りにくい場合は、取付金具のOリングに水等をつけると入ります。

2-6 本体の向きを合わせて本体をシンクに押当てたまま、六角棒スパナの長い方を使ってとめネジを締付ける。



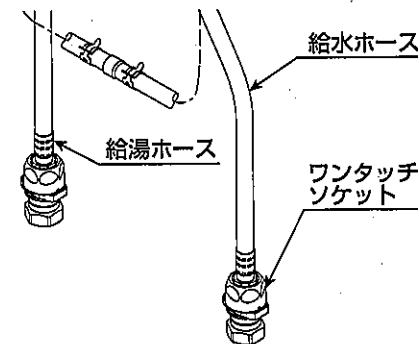
締付後、本体がまっすぐに取付けられていることを確認ください。

2-7 六角棒スパナの短い方を使って増締めして確実に固定する。
その後、止めネジのキャップを押込む。



本体が確実に固定され、ガタ等がないことを確認ください。

2-8 ワンタッチソケットを止水栓にねじ込んだ後、給水、給湯ホースをワンタッチソケットにカチッと音が出るまで挿入する。(キャビネット内での作業)

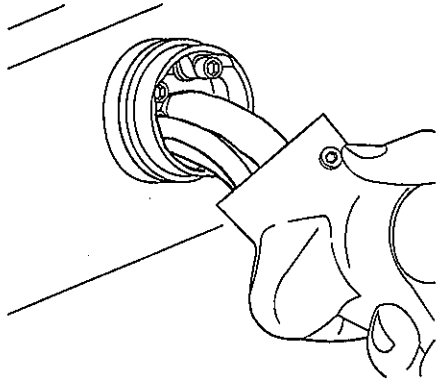


この作業はスパウト(ハンドシャワー)取付け後、実施ください。
ホースを引っ張って外れないことを必ず確認してください。
リングが正しい位置に装着されているか確認してください。

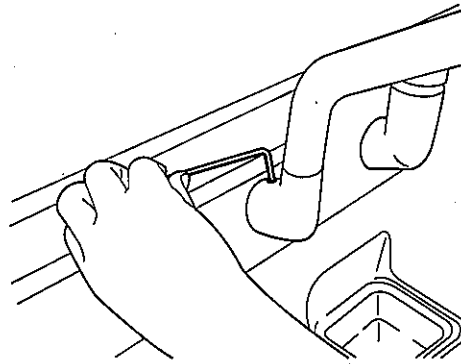
スパウトタイプ

3A スパウトの取付け (スパウトタイプ)

3A-1 本体と同様に止めねじを仮ねじこみ後、捨て水ホース、浄水ホース、混合ホースの順に左側の取付金具に挿入し、スパウト根元部がシンクに接するまで取付金具にゆっくり押しこむ。



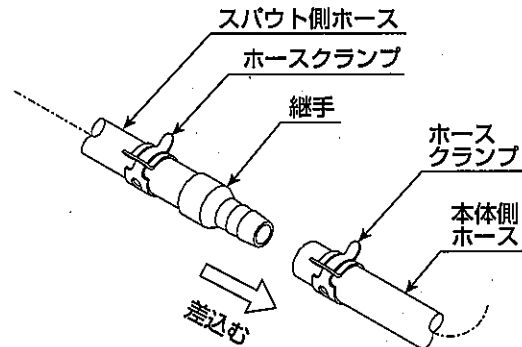
3A-2 スパウト部の向きを合わせて、スパウト部をシンクに押当てたまま、本体と同様に六角棒スパナで止めねじを締付けた後、キャップを押込む。



4A 混合ホースの接続 (キャビネット内での作業)

本体側混合ホースにホースクランプを通した後、スパウト側混合ホースの継手先端を混合ホースに押し込み、**クランプで固定**する。

ホースは継手の根元まで**差込**んでください。

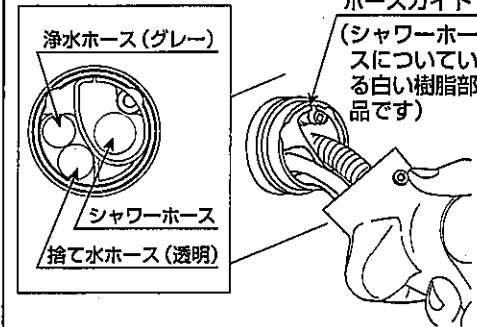


通水時、漏れがないことを確認してください。
給湯、給水ホースと混合ホースがからまないように注意ください。

ハンドシャワータイプ

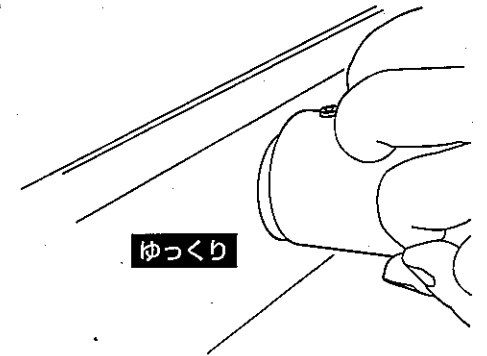
3B ハンドシャワー部の取付け

3B-1 本体と同様に止めねじを仮ねじこみ後、捨て水ホース、浄水ホース、シャワーホースの順に左側の取付金具に挿入する。シャワーホースをほぼ挿入したところでホースガイドを取付金具の形状に合わせて差込む。



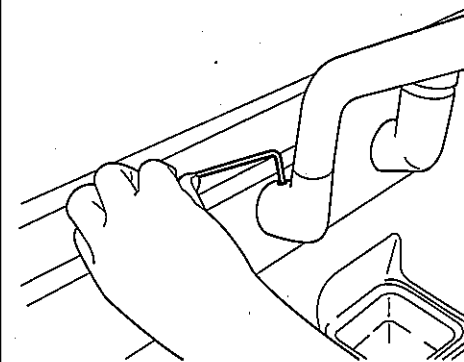
ホースガイドの凸部と取付金具の凹部を合わせるように取付けてください。

3B-2 ハンドシャワー部を根元部がシンクに接するまで取付金具にゆっくり押しこむ。



入りにくい場合は、取付金具のOリングに水等をつけると入りやすくなります。

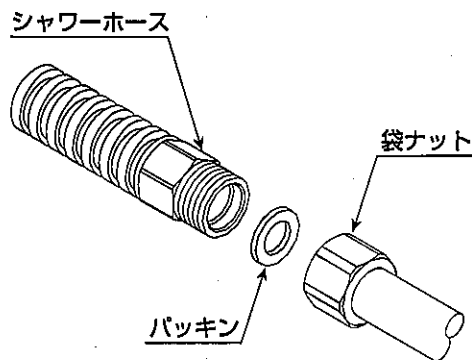
3B-3 ハンドシャワー部の向きを合わせてハンドシャワー部をシンクに押当てたまま、**(2-6) ~ (2-7)**と同様に六角棒スパナで止めねじを締付けた後、キャップを押込む。



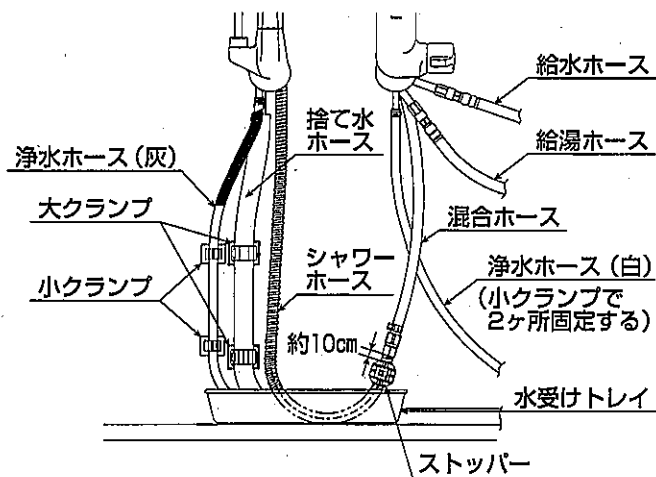
ハンドシャワータイプ

4B シャワーホース、ストッパーの接続、水受けトレイの設置 (キャビネット内での作業)

4B-1 本体側の混合ホースの袋ナットにパッキンを入れ、シャワーホースを**工具で**締込み接続する。



4B-2 図の位置にストッパーをつけ、水受けトレイをキャビネット内に設置する。



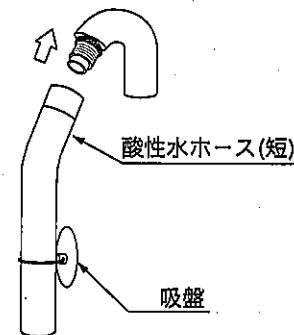
給湯、給水ホースとシャワーホースがからまないように注意ください。
アルカリホースの接続後、シャワーホースの出入れを確認し、浄水ホース、捨て水ホースをシャワーホースのじゃまにならないようクランプで止めてください。

5 酸性水ホースの接続

5-1 酸性水スパウト先端のキャップを手でゆるめて外す。



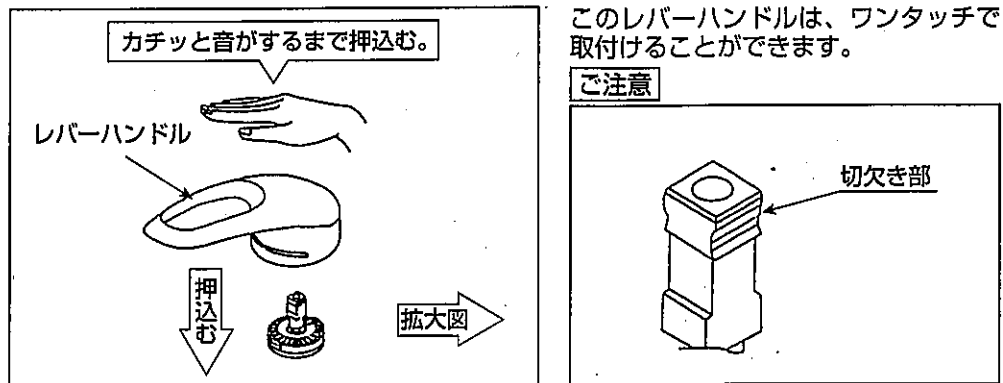
5-2 酸性水ホースを取付けて吸盤でシンク内に固定する。



酸性水ホースは、アルカリ7付属品です。
TK50A1型のみアルカリスリム用として酸性水ホースを製品に同梱しています。
酸性水ホースは、必ず取付けてください。加熱洗浄中は蒸気が出ます。
ホース接続後、取扱説明書に同梱している注意ラベルを近くの見える所に必ず貼ってください。

6 捨て水ホースの接続、**7** アルカリホースの接続については、アルカリ7・アルカリスリムの施工説明書を参照ください。

7 レバーハンドルの取付要領



レバーハンドルとレバーの切欠きとの方向性に注意してください。
正面から見てレバーの切欠きは、両サイドにあります。万一方向をまちがえて取付けた時は、ハンドルを一度引抜いて方向を合わせて再度押込んでください。
最後に、レバーハンドルが容易に抜けないことを点検してください。

8 分解時の注意事項

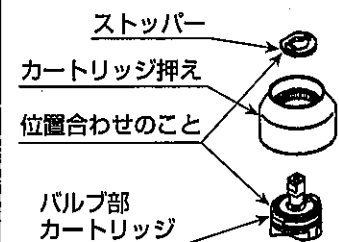
⚠ 注 意



分解禁止

バルブ部カートリッジ内部は、精密加工された特殊セラミックバルブを組立調整しておりますので、絶対に分解しないでください。

点検時の注意



カートリッジ押えは、手締めにて締め付け、工具は使用しないでください。再セットされる際に、ストッパーを組み込む時は、カートリッジ側凸部とストッパー側凹部を合わせて押し込んでください。その際カートリッジ押えの内側の歯とストッパーの外側の歯が合わない時は、カートリッジ押えを締め込む方向に少し回して、歯を合わせるように調整してください。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。